

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年11月25日

施設名	高知県立月見山こどもの森	所管課名	林業振興・環境部自然共生課
-----	--------------	------	---------------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設所在地	香南市香我美町岸本、香南市夜須町坪井(管理事務所:香南市香我美町岸本1269-7)		
事業内容	1. 月見山こどもの森における行為及び利用の許可等、行為及び利用の許可の取消し等その他の許可に関すること 2. 月見山こどもの森の施設、設備等の維持管理及び補修に関すること 3. 月見山こどもの森の設置目的(※)を達成するための活用事業の企画及び運営に関すること ※ 設置目的:「自然の中での野外活動を通じ、児童、生徒等の健全な心身の育成を図るため」(高知県立月見山こどもの森の設置及び管理に関する条例第1条) 4. 月見山こどもの森の利用促進に関すること		
施設内容	<概要> 郷土の雄大な自然の中で、子どもたちが自由に遊んだり、ふだん学校や家庭で得ることのできないものを体験し、たくましく、心豊かに育つことを願い、昭和54年の国際児童年を記念して、昭和55年10月に開設された。 <敷地面積> 約20ha <主なゾーン> 史跡の森・つどいの森・花木の森・わんぱくの森・自然の森 <主要建物等> こどもの森ハウス(管理事務所)、駐車場2か所約84台(第1駐車場44台、第2駐車場40台)、展望休憩所、休憩所、便所5棟 <主な施設・設備> アスレチックコース(木製遊具)、グリーンアドベンチャーコース(40種類の樹木名の看板)、すべり山、キャンプ場(芝生1,500㎡・テントサイトのみ)、展望台、ミニ88ヶ所巡りコース <開園時間> 午前8時30分～午後5時15分 <休園日> 12月29日～1月3日 <利用料金> 無料 <キャンプ場利用料金> 無料 <ハウス使用料> 無料 <イベント参加料金> 材料代(実費額相当)を徴収する場合がある		
職員体制	職員:3人(常勤2人、非常勤1人) (但し、イベント開催時等には、人員体制を確保するため臨時職員を雇用。)		

2 収支の状況

単位:千円

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
収入	県支出金	9,100	11,930	11,930
	参加料収入等	225	257	245
	収入計 (a)	9,325	12,187	12,175
支出	事業費	132	159	200
	管理運営費	2,244	3,418	3,165
	人件費	6,726	8,599	8,810
	支出計 (b)	9,102	12,176	12,175
収支差額(a)-(b)		223	11	0

※県支出金のうち、4年度4,185千円、5年度5,100千円、6年度5,100千円は、香南市からの受託事業収入(6年度は見込み)

3 利用状況

	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	24,130	24,367	25,000
②利用者意見等の反映	○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) (団体の来園者) 打ち合わせ・問い合わせの際に利用案内や冊子等を渡し、または送付し、事前に意見等を聞き、できる限り要望に沿った対応をするよう努めている。 (一般の来園者) 初めての利用者には、職員が直接出向いてアスレチックのコース図やグリーンアドベンチャーの案内図等を渡し、施設等の説明を行っている。また、事務所にもアンケート用紙を設置して、意見を記入していただき、集約している。 (「出前教室」開催の場合) ・職員の日程や経費を調整し、できる限り要望に応じている。 ・広報の配布と同時にアンケートを配って記入してもらうほか、直接の聞き取りによって、利用者ニーズの把握に役立てている。 ○利用者意見等を踏まえた対策 ・「いつでも作れる木工工作」として、年間を通して予約なしで製作できるようにした。		
③その他特記事項	幼児から高齢者まで、全てのお客様が楽しく利用できるよう対応に努めている。		

項 目	状 況 説 明
①管理運営に関する評価	・他団体との連携事業が伸びている。 ・理念を掲げて努力している。 ・来園者が親しみやすい環境づくりに努めている。 ・職員二人体制の時間を増やすよう努力している。 ・適切な利用ができるよう周知に努めている。 ・様々な工夫をこらし、サービス向上に努めている。 ・意見に対して適正に対応している。 ・アンケートの数が少ないので、簡単に回答できるようデジタル化の検討が必要。 ・努力や工夫はできているが、その効果が見えることを期待する。 ・SNSの積極的活用をしてサポーターを増やす。 ・デジタル化の取組はまだ伸びしろがある。
②事業の実施に関する評価	・「らんまん」、「ヤ・シィパーク」などを効果的に活用している。 ・新たな取組に手応えがあった。 ・限られた資源でよくやっている。 ・学校への働きかけや連携により、利用者増加の努力が必要。 ・「どこでも作れる木工工作」の取組を広げてほしい。 ・好評を得たイベントなど、新たな企画を重ねてほしい。
③利用実績	・令和5年度の施設利用者数は、目標25,000人に対し、24,367人(目標達成率97.4%)であった。
④収支の状況	・施設の維持管理経費が高騰する中、経費削減に努めている。
総 合 評 価 B	・工夫や努力がされており、来園者が親しみやすい環境作りに努めている。 ・施設の利用促進が効果的に行われている。 ・概ね計画どおりの取組ができている。 ・アンケートなどのデジタル化に課題がある。 ・学校等への働きかけをして利用者を増やす努力が必要。

【評価の目安】 A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの